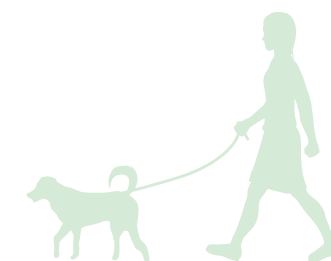




## 企業理念

# 一本の大きな木を育てるより、 多くの個性ある木を育て、美しい森をつくる。

イノアックは「暮らしをもっと豊かにしたい」という思いから、ひとつの事業に特化することなく、ウレタン・ゴム・プラスチック・複合素材という4つの苗をもとに、多くの事業(=木)を育て、企業体として多彩な製品、サービスを作り出し、社会へ貢献して参りました。イノアックはこれからも多くの個性ある木を育てることで、時代のニーズにお応えしていきます。



## Innovation & Globalization

イノアックは高分子化学で世界をリードし、迅速な決断と行動で、活気と個性に満ちたグローバル集団をめざします。それと共に「行動指針」を定め、社内外ともに裏表のない行動で「企業理念」を確実に実行・実現することで、地域社会、顧客、イノアックに関わる全ての人々に信頼されるブランドを確立します。

## 行動指針

### 挑戦

自由に発想し失敗を恐れず行動します。

### 収益

継続的な事業発展と利益ある成長をめざし行動します。

### CS

顧客満足度を高めるよう行動します。

### チームワーク

個性を発揮し、信頼される行動をします。

### 誠実・信頼

虚偽を廃し、信頼される行動をします。

### 責任

責任を持って最後まで行動します。



ごあいさつ

## 変化をチャンスに ～Change & Innovation～

皆様には、平素より当社の企業活動に格別のご高配とご支援を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

2016年を振り返りますと、国内経済は、日銀によるマイナス金利政策の導入など、金融・為替市場に生じた動揺によって先行き不透明な環境が続いたものの、雇用環境の改善から個人消費も安定し、緩やかな景気の回復となりました。一方、海外では、米国経済は雇用環境の改善が継続し個人消費の拡大から堅調に推移したものの、中国経済においては成長が鈍化、東南アジア諸国においては、地域差はあるものの、物価の安定や景気対策の効果などにより底堅く推移しました。

昨年、英国によるEU離脱、米国における政権交代、北朝鮮ミサイル問題等、我々を取り巻く環境に大きな変化が多くみられましたが、2017年は様々な面で世界が変わる時代がスタートすると思われまます。米国新政権の動向や英国のEU離脱の行方、欧州各国での国政選挙の影響など、今後も不透明な環境が続くと懸念され、世界情勢の動向に注視が必要です。

このような不安定な環境ではありますが、変化にはリスクもあるがチャンスもあると捉え、当社では“Change & Innovation”を2017年度の全社テーマに掲げ、グローバルな事業活動に取り組んで参りたいと考えております。

事業活動の展開にあたっては、グローバル人材の積極的な育成と登用を推進する「グローバル経営体制の確立」と、素材を基軸とした「成長市場での事業開拓」を成長への足元固めとし、「世界ナンバーワン、オンリーワンをめざした技術開発」「信頼される製品づくり」「グローバル最適調達」で競争力を強化してさらなる成長をめざします。

国内においては、工場の再編、生産拠点の強化を図るとともに、開発拠点を拡充し顧客のニーズに迅速に対応できる体制を整え、また、海外においては、新規事業の開拓をはじめ、さらなる事業の拡大、新工場を活用した拡販活動を推進して参ります。

皆様方には引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社イノアック コーポレーション

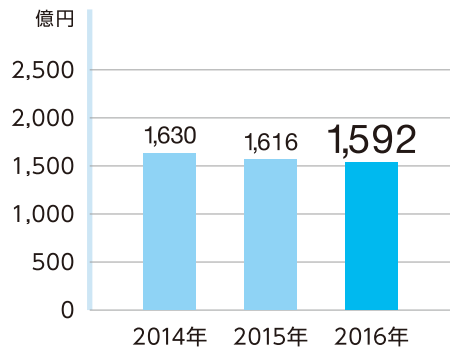
代表取締役 翁 豊彦

## 会社概要

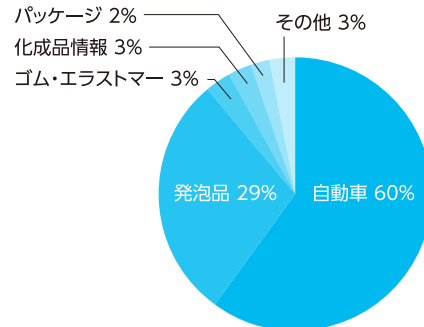
社名	株式会社イノアックコーポレーション INOAC CORPORATION
設立	1954年(昭和29年)
資本金	7億2,000万円
代表	代表取締役 井上聡一
社員数	1715名(2016年12月)
売上高	1592億円(2016年12月)
事業内容	ウレタン、ゴム、プラスチック、複合材をベースとした材料開発とその製品化により、自動車、二輪、情報・IT機器、住宅・建設関連から身近な生活関連商品、コスメ用品まで、様々な場面に密着した製品を取り扱う
本社	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南二丁目13番4号
本社(東京)	〒141-0032 東京都品川区大崎二丁目9番3号(大崎ウエストシティビル4F)
事業所および工場	安城、桜井、南濃、新城、八名、豊橋、石巻、武豊、吉良、池田、大野、秦野
主要営業拠点	東京、中部、大阪、九州(支店)、札幌、東北、浜松、広島(営業所)
研究所	株式会社イノアック技術研究所
海外拠点	北米、中国、韓国、東南アジア

## 売上

■ 売上推移



■ 2016年度事業分野別売上



## ネットワーク

### 国内主要拠点

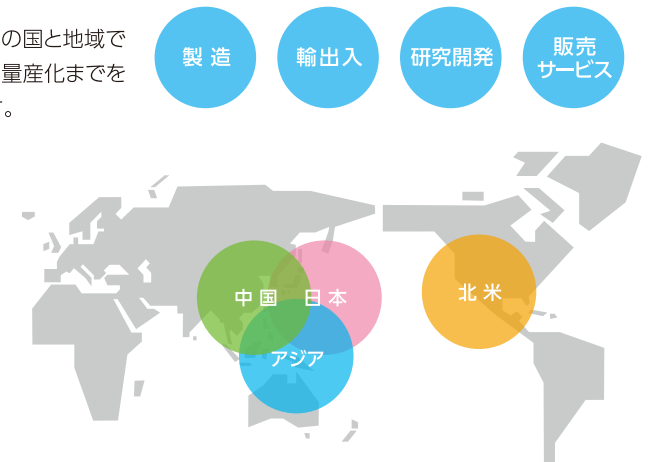
イノアックコーポレーションの全国ネットワークに加え、系列・関連・合併会社が北海道から九州まで緊密な生産・販売ネットワーク体制を確立し、最適なソリューションを提供しています。



### 海外主要拠点

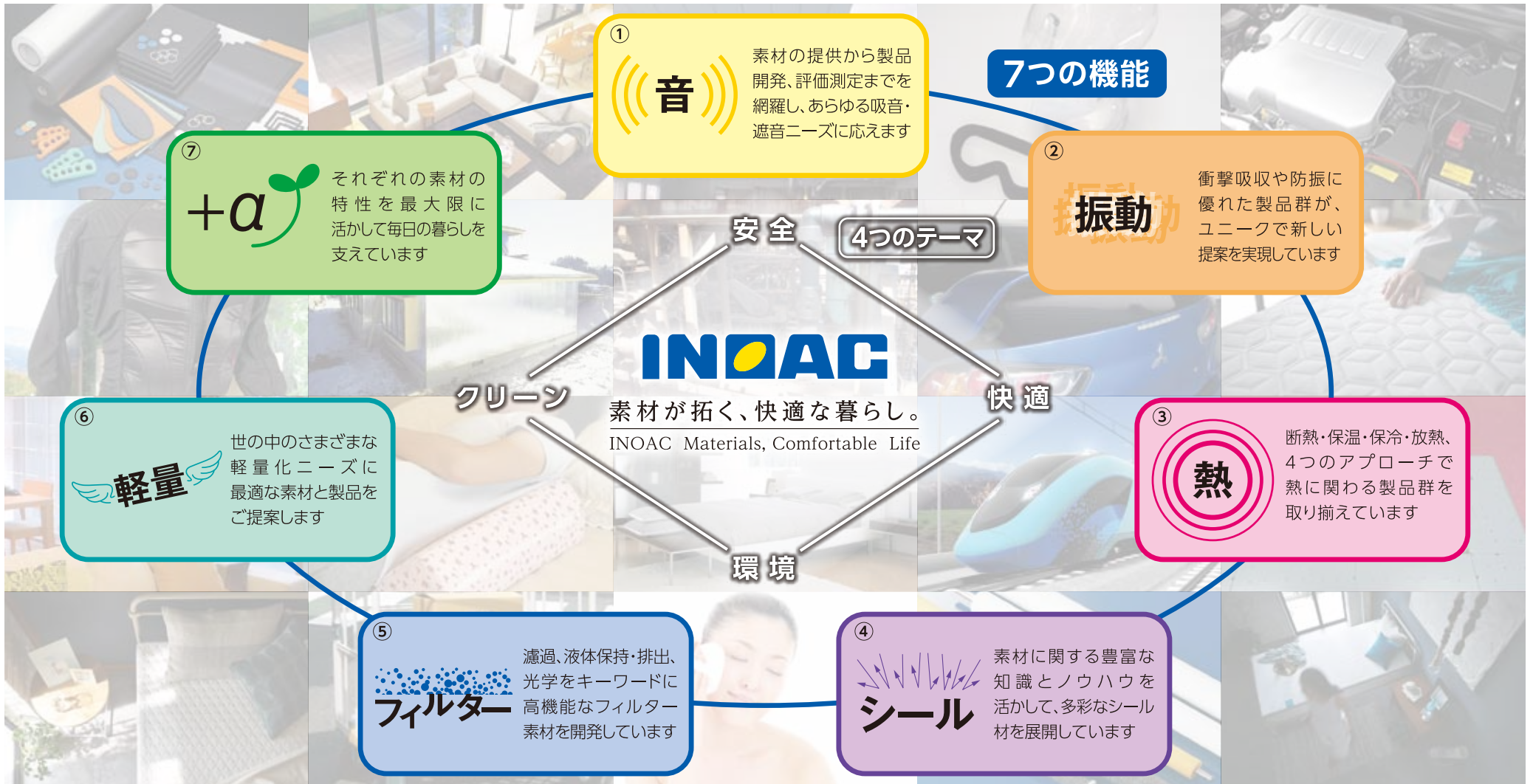
北米・アジアを中心として、全世界13の国と地域で研究開発から素材の加工・成型技術、量産化までを提案・提供する体制を構築しています。

- 〈北米 19社〉  
アメリカ 11社  
カナダ 3社  
メキシコ 5社
- 〈中国 50社〉  
中国本土 48社  
香港 2社
- 〈アジア 42社〉  
タイ 15社  
台湾 3社  
インドネシア 5社  
ベトナム 6社  
韓国 1社  
シンガポール 5社  
フィリピン 1社  
マレーシア 4社  
スリランカ 2社



# 事業紹介

イノアックは素材加工メーカーとして社会のニーズに柔軟に対応し、貢献することが私たちの存在意義と捉えています。「安全」「快適」「環境」「クリーン」の4つのテーマのもとに「音」「振動」「熱」「シール」「フィルター」「軽量」「+α」の7つの機能軸を設けて製品を開発しています。ウレタン、ゴム、プラスチック、複合材をベースとした材料開発とその製品化により、自動車、二輪、情報・IT機器、住宅・建設関連分野から身近な生活関連商品、コスメ用品まで、生活の様々な場面に密着した製品で豊かな暮らしに貢献しています。

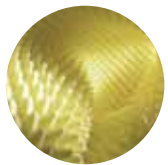
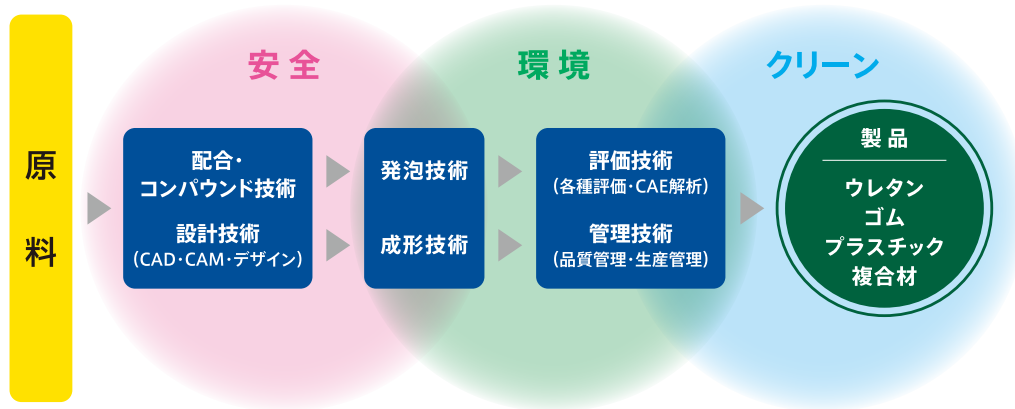




# 技術革新

## 研究開発

イノアックでは「暮らしを豊かにする」をモットーに、未来を見据え、創造性にあふれた研究開発に取り組んでいます。ポリマーを主体として各種ウレタン、プラスチックやエラストマーの配合・発泡・成形技術、その他複合材料の技術を駆使し、自動車産業をはじめ情報通信・電子機器・産業資材・生活用品等の幅広い分野で常に新しい素材を提供しています。また同時に、環境負荷の軽減、軽量、省エネルギー、高機能化の新製品、新プロセスの研究・開発を進めています。



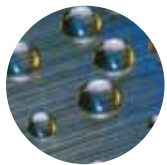
ウレタン



ゴム・エラストマー



プラスチック



新素材・複合材

## 研究・開発体制

イノアック技術研究所とグローバル技術本部ではゴム、ウレタン、樹脂の高機能化をめざし合成技術、配合・発泡技術を用いて新規材料の開発を進めています。近年、地球温暖化、VOCの削減など環境問題への対応も重要な課題となっており、クリーン材料の開発、製造時の省エネ化のテーマにも取り組んでいます。またイノアック技術研究所では、将来を見据えて新しい素材の調査・評価や大学との共同研究を通し、新技術の情報の収集に努めています。各事業部の技術部門では、成形・加工技術、材料の複合化技術を用いて顧客ニーズに合った製品の開発を進めています。さらに中国 (ITC China) では現地のニーズ、情報をいち早く取り込み開発を進めています。



### ITC JAPAN

株式会社イノアック技術研究所



### ITC CHINA

蘇州井上高分子新材料有限公司

